

大塙伸之の まちダネ

1937（昭和12）年に御堂筋が拡幅されて開通するまで、商都・大阪の目抜き通りは東側の堺筋だった。大正から昭和初期にかけて、通りには三越と白木屋、高島屋、松坂屋の百貨店が店を構えた。南北に走る堺筋を市電が走り、にぎわった。

現在、百貨店の大半が姿を消した。三越大阪店跡には高さ209mの超高層マンションがそびえ立つ。そこから堺筋を南へ

造船の街今昔

179

大大阪時代 今も時刻む

No.414

歩くと、東西に走る平野町通との交差点に鉄筋コンクリート造り、地下1階地上5階建ての近代建築が見えてくる。

外観は茶褐色。「大大阪時代」の30年、舶来時計などを扱

う生駒商店（現・生駒時計店）の本店として建てられた「生駒ビルヂング」だ。

時計店の社長でビルのオーナーの生駒伸夫さん（58）は、芝川ビルの芝川能一さんらとともに

「船場近代建築ネットワーク」をつくり、大阪の中心・船場地区に残るレトロビルの統一パンフレットを作るなどしてきた。

生駒ビル屋上の時計塔はいまも時を刻み続けている。その下の縦長の出窓と2階の円窓は時計の振り子を模し、ビル全体で時計をイメージしている。



大阪市中央区平野町の生駒ビルヂング

大峯伸之の まちダネ

造船の街今昔

180

最新のビル 総工費15万円

No.415



完成当時の生駒ビル。左隣は木造の町家。生駒時計店提供

大阪市中央区平野町の生駒時計店社長の生駒伸夫さんは、江戸時代に商売を始めたという生駒家の12代目、時計店の社長としては5代目となる。

8代目権七が1870（明治3）年、当時の大阪・高麗橋4丁目（現在の御堂筋淀屋橋）で「大権堂」を創業。まもなくドイツやイスラムから時計の輸入・販売を始める。1923（大正12）年、生駒さんの祖父10代目

権七が株式会社生駒商店（現・生駒時計店）を設立。御堂筋の拡幅工事に伴い堺筋の現在地にいたん出張店を構えたあと、1930（昭和5）年に本店ビルとして「生駒ビルヂング」を

建てた。世界大恐慌が始まった翌年、満州事変の前年だ。

建築家の宗兵蔵の事務所が設

計、大林組が施工を担当。総工

費15万円という記録が残る。

入り口とショーウィンドーの

上に7体のワシの彫刻が並んで

いる。設計時は西欧の知の象徴

フクロウだったが、夜や闇を連

想させて「暗い」と考えた祖父

がワシに変えた話が伝わる。

当時は3階までが店舗、4階

が事務室、5階の豊の大広間に

住み込みの店員が寝泊まりし

た。最新のビルだが、船場の商

いの伝統は守っていた。

大峯伸之のまちダネ



生駒ビルヂングのワシの彫刻。タカという見方もある

造船の街今昔

181

堅牢なコンクリ戦災免れ

No.416

商都・大阪の船場地区にある近代建築「生駒ビルヂング」は

1945（昭和20）年の大阪大空襲で焼け残った。周辺は焼け野原となつたが、堅牢なコンクリート壁や開口部の防火扉のおかげで戦災を免れた。

54年、会社名は生駒商店から生駒時計店に変わった。現社長で生駒家12代目の生駒伸夫さんと父は神戸生まれだ。祖父は船場で生まれたが、船場のほかの多くの店と同じように阪神間に住まいを求めた。

97年、ビルは国登録有形文化財に指定された。02年に社長となつた生駒さんは耐震補強などの改修工事をし、テナントビル

に変更した。海外航空会社の事務所などが入り、時計店は西隣のビルに移って外商中心となつた。

04年ごろ、生駒さんはたまたま近代建築の保存・活用を訴える市民団体「大オオサカまち基盤」のブログを見る。「うちもレトロビル」と書き込んだのがきっかけで建築家の高岡伸一さんたちと知り合つた。翌年、市民団体が開いた「近代建築オーナーサミット」に参加。建物の価値を再認識した。

しかし、まもなく入居率低下という大波に見舞われる。

大峯伸之のまちダネ



生駒ビルヂングの1階内部。奥はカフェ、手前はかつて屋上の時計塔で時報を響かせた鐘

造船の街今昔

182

賃貸立地とレトロが売り

No.417

大阪市中央区の近代建築「生駒ビルヂング」のオーナーの生

駒伸夫さんは、2003年から10年間、ビルを丸ごと賃貸する「サブリース」契約を別の会社と結んだ。その会社が入居者に転貸するやり方だ。

ところが08年にリーマン・ショックが起き、退去する入居者が出了た。再契約にあたり、相手の会社からは賃料引き下げを求められた。「とてもやつていけない」。生駒さんは自前で賃貸することにした。

金融機関から土地の売却を勧められたこともある。しかし、レトロビルが立つ土地は更地よりも評価額が低い。祖父が建て

いまは広さ2~7坪（1坪3・3平方㍍）のオフィス28室を賃貸中だ。周辺より割高の賃料だが、弁護士事務所など入居率は8~9割。1階の総合受付

き受けている。「ビジネス街の北浜に近い立地と築85年の歴史を気に入った入居者ばかり」と生駒さん。レトロという希少価値が武器になっている。